

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

明治二十三年第五百二号

(発行年 / Year)

1910

明治三十二年九月廿九日

判決書

東京府東京市芝区新堀町四十

一丁目平民新築

上告人

田中栄助

今府令市京移区目吉町八丁目他

士族代理人

女族代理人

澤田俊三

今府令市芝区新堀町三十一丁目

地平民新築

被上告人

近藤市之助

田中栄助ヨリ出願申上ルニ係ル地代及家賃拂

済系金積解等々直渡水事件ニ付東京地審裁

大審院

判所カ昭示ス三十二年六月三十日言渡シタル判決

ニ對シ上告人ヨリ官部破毀ヲ求ムル申上ラリ

シタリ

判決本文

本件ノ上告ハ之ヲ棄却ス

理由

上告指旨ヲ要約スレハ下ノ四点ニ在リ第一被

上告人ハ上告人カ現ニ地所ヲ使用シ居ルコトヲ

認メナカラ持備摺ヲ為シ又上告人カ現任スル

家賃タルヲ知りテ之ヲ請求シタルヲ以テ上告

人ハ被上告人ニ先持備人ノ承諾者タル責任

アリト補証シ主張シタルニ原裁判所ハ被上告

人ノ陳述ハ虚偽ナリト一言ヲ以テ被上告人

大審院

カ先持主ノ許シタル債貸ヲ承継スルノ義務アリ
 ルヤ否ヲ判示セザリシハ不注ナリトテ二上告人
 ハ地代家賃ノ折渡ヲ為サレトテ求ムルト共ニ
 金証ノ更改ノヲ為サシメテ丁ヲ求メタルモ
 ノナルニ原裁判所カ被上告人ハ先持主ノ承継
 者トメ之カ書改メヲ為スノ責アリヤ否ヲ判示
 セサルハ不注ナリトテ三上告人ハ原裁判所ニ於
 テ若シモ二年三月ヨリ三ヶ年間上告人カ地所
 家賃ヲ借借シタル丁ヲ被上告人ニ於テ認メス
 シハ現状ヨリ推定シテ毎期限ノ借借ト看做サ
 ルヘカラザル丁ヲ論シタルニ原裁判所カ之
 ヲ不問ニ付テ上告人ノ論忘ヲ判示セサルハ不
 注ナリトテ四原裁判所ニ於テ上告人ハ三ヶ年ノ
 借借契約ヲ為シタリト謂ヒ被上告人ハ本訴家
 賃明渡期限ハ廿二年八月三十日迄ナリト論シ
 而シテ陳述一致セサルニ原裁判所カ被上告人
 ノ口頭陳述ヲ採リ何等ノ理由ヲモ付セヌメ上
 告人ハ被上告人カ本訴家賃地ヲ買取ルノ際引取ノ
 掛合ヲ受ケ之ヲ承諾シタルモノト認定シタル
 ハ越権不注ナリト謂フニ帰着ス
 依テ原判文ヲ撤スルニ上告人ハ朝比奈一ヨリ
 本訴官有地ヲ取返共三年三月ヨリ三ヶ年間家
 賃ト共ニ轉借スル丁ヲ約シタリト謂フトモ此
 單ニ口頭ノ陳述ニ止マリ金証ノ預金ハ土地ニ
 ハ関係ナク又朝比奈一ノ承諾モナク勿論去
 地賃借ヲ為シタルノ私左ノ見ルヘキ事ナラズテ

原裁判所ハ被上告人ノ陳述ノ如ク上告人ハ被
上告人カ本訴ノ家地ヲ買取ルノ際引取ノ掛合
ヲ受ケ之ヲ承諾セシモノト認定シタルモノナ
リ此判旨ニ依ルハ上告人一身二身三論旨ハ
何レモ採擧スルヲ得ヌ先ツ身一論旨ノ如ク被
上告人ハ先持借人ノ借賃ヲ承諾スル義務ヲ
ヤヲ約定スルヲ要セス何トナレハ良シヤ被上
告人ハ先持借人ノ義務ヲ承諾ス可キ適合ナリ
トスルモ上告人カ引拂ヲ承諾シタル以上其義
務ハ消滅シタルハナリ又身二論旨ノ如ク被上
告人ハ借金証ノ更改ノヲ請求スルノ責アルヤ
ヲ判定スルヲ要セス何トナレハ上告人ノ借債
擔ハ既ニ消滅シタルハナリ又身三論旨ノ如ク

大審院

無期限ノ借債ニハ非サルヤヲ判定スルヲ要セ
ス何トナレハ上告人カ家地ニ現住ニ地所ヲ使
用シ居レハトテ上告人カ引拂ヲ承諾シタル目
ヲ以テ借債契約ハ消滅シタルハナリ上告人ハ
身四論旨ニ於テ原判文ノ基準即チ原裁判所カ
被上告人ノ口頭陳述ヲ採リ何等ノ理由ヲモ付
セヌノ上告人ハ家地ノ引拂ヲ承諾シタルモノ
ト認定シタルヲ攻撃スレバ原判文ヲ見ルニ亦
殷々々ノ理由ヲ掲ケ然ラハ別々被担保人ノ陳
述ノ如ク担保人ハ被上告人カ本訴ノ家地ヲ買
取ルノ際引取ノ掛合ヲ受ケ之ヲ承諾シタルハ
身一論旨ノ事實ナリト信認スルト論變シタル
モノナレハ理由ヲ背セスト謂フ可ラス畢竟上

管論旨ハ原哉判所ノ権内ニ属スル事實ノ認定
ヲ非難スルニ過キカレナリ

大審院第二郎事部

裁判長判事 富永冬樹

判事 高本 勤

判事 津尾敬三郎

判事 岩俣春三

判事 熊野敏三

判事 松玉厚一郎

判事 西川鐵乃郎

大審院